

広報 おおの



新富田大橋 渡り初め

主な内容

	ページ
スターランドさかだに完成…	2
恐竜エキスポ大野会場…	3
広報アンケート結果…	4～5
スポーツ情報…	7
市民のページ…	10～11
お知らせ…	14～15

URL <http://www.mitene.or.jp/~ono/>
E-MAIL ono@mitene.or.jp

平成12年(2000年)

9月号

No.660

古紙配合率100%再生紙を使用しています

中山間地域の活性化拠点に

～スターランドさかだに開館～

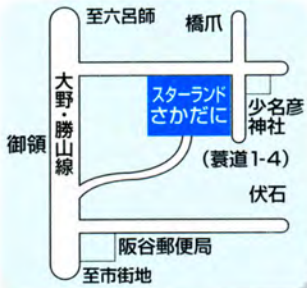


農業体験を通して交流

阪谷地区に完成した「スターランドさかだに」の開館式典が八月五日に行われました。この施設は、県の中山間地域総合整備事業で整備され、

事業費は県と市を合わせて約三億六千万円。

三万五千八百平方メートルの敷地には、木造平屋建ての交流会館や体験農園、有機農法などの実証農園、多目的に利用できるイベント広場やどんぐり



県道から見たスターランドさかだに

林などがあります。

これらは創作活動や文化活動、会議や会合の場として、幅広く利用できるほか、農業体験を通して都市と農村とが交流する「グリーンツーリズム」などの拠点としての利用が期待されます。

交流会館には、料理の実習や農産物の加工などに利用できる実習室をはじめ、会議室や研修室、多目的ホールなどが備えられています。

今後、中山間地域の活性化の拠点として期待されます。問い合わせ先 スターランドさかだに (☎ 67・7250)



農産物加工実習室

新しい富田大橋が完成



今度の橋は三代目

七月二十一日から、新しい富田大橋が使えるようになりました。最初にこの場所に橋が架けられたのは、今から約百年前の明治三十年で、木造の西五箇橋。しかしこの橋は、昭和三十四年の伊勢湾台風で流されてしまいました。

これまで使われていた富田大橋は、昭和三十七年に架け



西五箇橋 明治43年ころ

恐竜エキスポ ② ふくい2000 百選城下町 in 大野

7月20日から始まった恐竜エキスポ。当市では、週末を中心にいろんなイベントが行われています。9月17日までの期間中、まだまだ楽しいイベントがいっぱい。皆さん、お気軽にご参加ください。



インフォメーションで頑張る高校生たち



昔懐かしい、自転車紙芝居屋さん



さまざまな映画を上映、まあかど活動写真



七間で行われた、大道芸フェスティバル



地元の食材を囲んで、おおの食談

三代目となる新しい橋は、平成六年度から工事が行われました。総事業費は、二十一億五千三百万円。橋長は二百五十八メートル、幅員は十三・五メートルです。橋の両側には三メートル幅の歩道を設置、歩行者がより安全に渡れるようになりました。欄干や照明灯などは、雄大な山岳景観との調和を考えたデザイン。車道も七・五メートル（片側一車線三・七五メートル）に広げられゆとりとしています。

開通前日、新しい橋の広い空間を利用して、富田大橋開通式前夜祭が行われました。現代美術作家が、砂を入れ



橋の上で行われた前夜祭

歩行者の安全に配慮



旧富田大橋の落成式

られたものです。交通の要所として通行量が増加し、老朽化が進んでいました。

た三百個の紙の米袋を等間隔で並べ、中にろうそくをとともすライトアートを披露。日没とともに幻想的な明かりの空間を作り出していました。そこを舞台上に音楽グループが、南米音楽フォルクローレを披露。集まった地元の人など約二百人が雰囲気を楽しみました。

開通式典は、関係者ら約百五十人が参加。友江・川上・下麻生嶋区からの三世代夫婦三組をはじめ、尚徳中学校吹奏楽部や地元住民が参加して渡り初めが行われ、新橋の完成を祝いました。

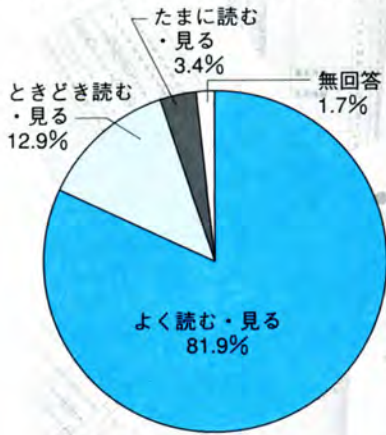
広報に向けて



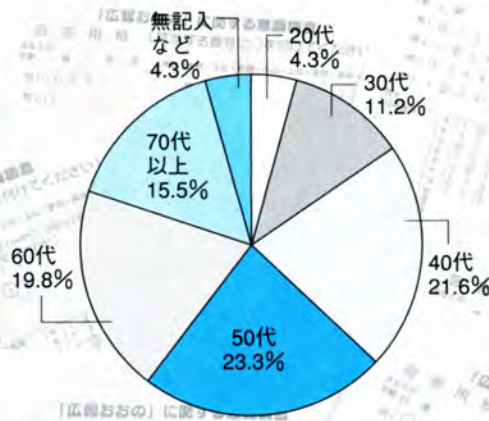
「広報おおの」に関する意識調査の結果報告

五月に行った「広報おおの」に関する意識調査の集計がまとまりました。今回の調査では、二十代から八十代まで幅広い層の皆さんから回答をいただくことができました。今後、集計結果を基に、より良い紙面を目指し、広報づくりに取り組んでいきます。

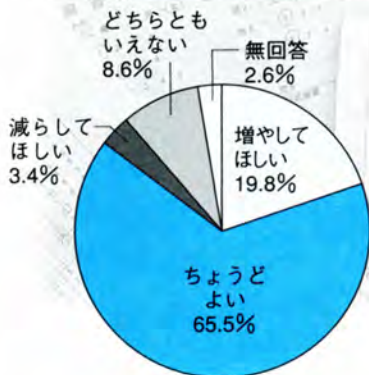
あなたは、「広報おおの」をどれくらい読んだり見たりしますか？



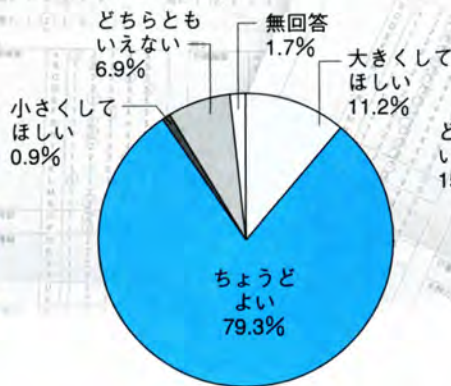
回答者の年代



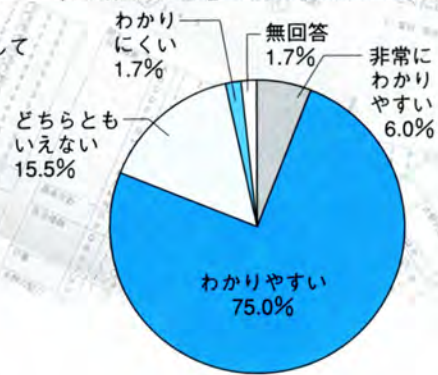
使われている写真の枚数は？



文章に使われている文字の大きさは？



「広報おおの」の文章表現は？



回答数は百十六通

アンケートの回答数は、百十六通。平均年齢は五三・五歳、男性五八・二歳、女性四九・七歳でした。

年代別では、五十代が最も多く、次いで四十代、六十代となりました。

地区別では、大野地区が最も多く、次いで下庄地区、上庄地区などの順となりました。また、中・高生から九十歳のお年寄りまで、幅広い年代に読まれているということも分かりました。

関心の高いコーナーは？

約半分の人が「特集記事」という回答でした。そのほかには「お知らせ」や「暮らしのアドバイス」などに回答が集まりました。（左図参照）

掲載情報の重要度は？

「環境問題（生活に身近なごみや自然環境問題など）に関すること」という回答が最も多く、続いて「健康・保健・医療に関すること」「経済・産業、情報、消費生活に関すること」「まちづくり、大野の魅力、市民参加に関すること」などでした。そのほか「学校教育、高齢化社会に関すること」なども回答が集まりました。

情報はどれくらい役立っていますか？

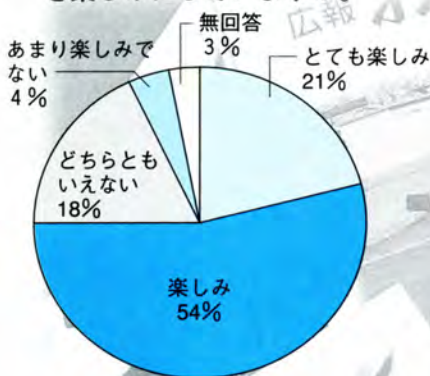
「祭やフェアなど地域イベントの案内や内容に関すること」に最も多い回答が寄せられ、広報が本来の役割である「お知らせ版」として活用されていることが分かりました。ほかにも「環境問題に関すること」「健康・保健・医療に関すること」「まちづくりや市民参加に関すること」などへ回答が集まり、広報から提供している情報の重要性が高いことが分かりました。

不足している情報は？

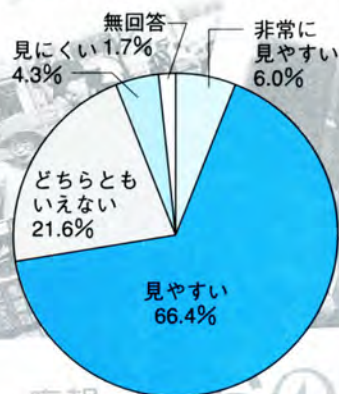
「環境問題（生活に身近なごみや自然環境問題など）に関すること」に最も多く回答が寄せられ、続いて「長期構想、将来計画、重点施策に関すること」「災害に関すること」「まちづくりや大野の魅力、市民参加に関すること」などへ多く回答が寄せられました。今後、広報づくりの課題として、紙面に反映させていきたいと考えています。

より親しまれる

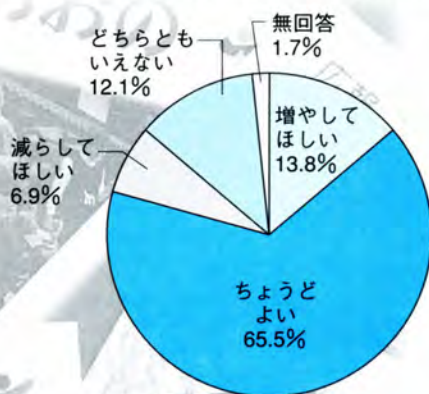
あなたは、「広報おおの」を楽しみにしていますか。



「広報おおの」は見やすいですか？



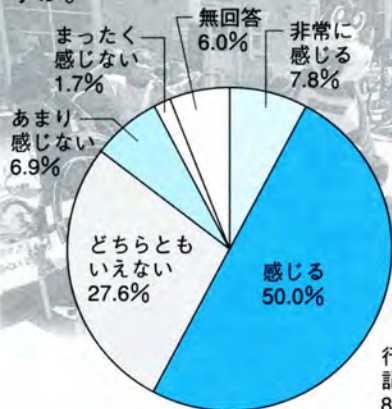
「広報おおの」のページ数は？



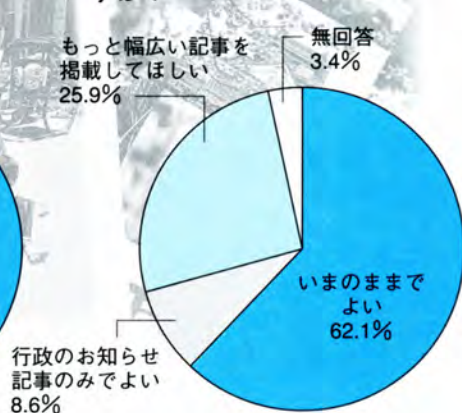
「広報おおの」の中で興味のあるコーナーがありますか。(上位から)

- ・特集記事……………50.0%
- ・お知らせ……………44.8%
- ・暮らしのアドバイス……42.2%
- ・健康通信……………31.0%
- ・市民カレンダー……………29.3%
- ・グループ登場……………26.7%
- ・私の宝……………24.1%
- ・表紙、私もひとこと、話題の広場……………23.3% (同率)

「広報おおの」は、住民のニーズ(必要性)に据えていると感じますか。



いまの「広報おおの」の内容について、あなたはどのように思われますか？



皆さんからの意見など

- アンケートで寄せられた、意見やアイデアの一部を紹介いたします。
- ・防災などに関する記事を書いて意識を高めて欲しい。特に震災などが起こったときの避難場所を地図にしてはつきりして欲しい。神戸は人ごとではない。(六十一歳・男性)
- ・文芸欄(俳句・川柳・短歌・詩)などを載せるところを作ってはいかがですか。(七十四歳・女性)
- ・白い紙に黒字印刷は見づらいので淡い色のついた紙のほうが見やすいと思います。(五十五歳・男性)
- ・市民カレンダーは、日付が縦書きになっているので見にくいと思います。このごろは食文化が親から子どもへ受け継がれていきにくくなっています。昔から伝わる伝統料理や特産品を使った郷土料理などを、健康通信や暮らしのアドバイスなどのコーナーを使って教えて欲しい。そして大野の食文化が、ずっと受け継がれていってほしいと思います。(五十三歳・女性)
- ・クイズコーナーを作って、商品として「あっ宝んど」

や「うらら館」の補助券を出すというのでは。(五十歳・男性)

横書きのほうが見やすいと思う。(四十四歳・女性)

もっとシンプルに読みやすくしたほうが良い。(四十一歳・男性)

・広報の配布が遅くて、イベントなどの締め切りに間に合わないときがある。月末に配るか、早めに募集記事を掲載するなどしてほしい。(四十六歳・女性)

・チャイルドシートに補助金が出る時決まったときなど、対象になる人などを早く知らせるべきです。市外で購入して補助の対象にならない人がいました。みんなにもっと早く情報を知らせてください。(二十九歳・女性)

今回、広報に関して、皆さんからさまざまな意見や要望が寄せられました。

これらの内容をよく検討し、よりいっそう皆さんに親しまれる広報紙をつくっていきたく考えています。ご協力、本当にありがとうございます。

これからも「広報おおの」をよりよくお願いします。

応援します 大野らしい景観づくり

活動団体に助成金

平成十一年四月から「大野のまち」をより美しく、魅力あるまちにしていこうと「大野市都市景観条例」が施行されています。

その一環として、大野らしい優れた景観の保全や育成、創造を目的に活動する団体に対して、活動助成金を交付することにいたしました。

活動助成金の金額は、年間十万円、交付は五力年間が限度です。

対象となるためには

次の三つの条件をすべて満たすことが必要です。
 ・大野らしい優れた都市景観の形成に有効であること



な旅費
 ・会議などで使う会場の使用料金や研修会などへの参加費用

助成の対象とならないもの

・団体を構成する人や事務を行う人への報酬や手当
 ・会場や事務所などの修繕費
 ・財産や備品などの購入費用
 ・植樹・植栽などの原材料費
 ・新聞や雑誌などへの広告費

助成の対象となるもの

・講演会や学習会などを行った場合の講師への謝礼
 ・資料や案内などの印刷代や郵便代など
 ・先進地などへの視察に必要な

交付の手続きや詳しい内容については、左記まで問い合わせてください。
 市役所都市整備課景観建築係 ☎66・1111内線354

市政バスの参加者募集

市や県が、大野市内に整備した公共施設などを広く知ってもらおう「市政バス」を運行します。コースの途中では、市長からの市政に関する話なども予定しています。どうぞお気軽に参加ください。

日時 10月8日⑩午前8時50分 市役所前集合
 コース 平成大野屋・奥越ふれあい公園・スターランドさかだに・浄化センターなどを予定

対象 団体行動に支障のない市民（小学4年生以上）
 定員 先着80人
 参加費 800円（昼食代）
 応募方法 はがきに参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を明記して応募（1枚に複数人の記入可）

申込締切日 9月25日⑩
 その他 参加決定者には別途通知します。雨天決行
 申し込み・問い合わせ先
 市役所秘書広報課広報聴係（〒912-8666
 大野市天神町1-1 ☎66・1111内線440）

65歳以上の人も10月から

介護保険料を納めるようになります

現在、介護保険制度では国の特別対策として、65歳以上の人の保険料を一定の期間軽減しています。

平成12年4月～9月

保険料の負担はありません

平成12年10月～平成13年9月

保険料の半額を負担

平成13年10月以降

本来の保険料を負担

65歳になっていて年金の支給額が年額18万円以上の人の年金の支給額が年額18万円未満の人

平成12年4月2日以降に満65歳になった人や平成12年4月1日以降に、他市町村から当市に転入してきた人

特別な事情で年金から差し引くことができない人

保険料は金融機関などへ直接納める方法と、年金から差し引く方法があります。

年金となる年金は老齢退職年金で、傷病年金や遺族年金は対象となりません。

年金から差し引いて納める人
 ・平成12年4月1日までに満

※ 金融機関などへ直接納めていただく時期は、年4回（7・9・11・1月）で本年度は11・1月です。

保険料の口座振替を希望する人は、納期の前月までに銀行・郵便局などで手続きを済ませてください。

納めていただく保険料は、所得や住民税の課税状況によって異なります。平成12年度に納めていただく保険料は下記のとおりです。

・生活保護を受けている人 ・老齢福祉年金を受けている人で、世帯全員が住民税非課税の場合	4,500円
・世帯全員が住民税非課税の場合	6,750円
・世帯で住民税が課税されている人はいるが、本人は住民税非課税の場合	9,000円
・本人に住民税が課税されていて、前年の所得金額が250万円未満の場合	11,250円
・本人に住民税が課税されていて、前年の所得金額が250万円以上の場合	13,500円

エキサイティング

スポーツ

情報



市ミニバスケット大会

市教育委員会スポーツ課

第15回市ミニバスケットボール大会が開催されます。

日時 10月28日①～29日②

場所 市エキサイト広場

参加資格 市内の小学生

種別 男子の部・女子の部

チーム編成 監督1人・コーチ1人・選手10人以上

参加料 1人50円

申し込み・問い合わせ先 市教育委員会スポーツ課(☎66・1111内線531)

ソフトバレー教室

市勤労青少年ホーム

普通のバレーボールは、ちよつと大変というあなた、ソフトバレーでいい汗流してみませんか。

日時 9月13日①・27日②・10月11日③・25日④・11月8日⑤の計5回

午後7時～9時

場所 市勤労青少年ホーム

対象 18歳以上40歳までの人(初心者向けの内容です)

定員 15人

参加費 1000円(保険料) 準備物 運動靴 タオル

申し込み方法 9月11日①までに参加費を持参

申し込み・問い合わせ先 市勤労青少年ホーム(☎65・7221)

モダンダンス&

ストレッチ教室

市エキサイト広場

日時 9月11日①・18日②・29日③・10月2日④・13日⑤・16日⑥・23日⑦・30日⑧の計8回

午後7時30分～9時

場所 市エキサイト広場

講師 杉山美和子さん

定員 30人

テニスの日記念行事

大野市テニス協会

9月23日のテニスの日に、奥越ふれあい公園のテニスコートを無料開放します。たくさんの方のテニス愛好者の参加をお待ちしています。

日時 9月23日①午前8時30分～午後3時

会場 奥越ふれあい公園

対象 市民および市内に勤務している人

参加費 無料

問い合わせ先 大野市テニス協会事務局 加藤嘉一さん(☎65・4053)



訂正

8月号に掲載したウォークラリー大会は、10月9日①に変更になりました。

施設スポット

35 大野市東部児童センター

美里町にある大野市東部児童センターは、次の時代を担う児童たちの、健やかな生活の場として建てられた児童福祉施設です。

平成五年、子どもたちの心と体の健康作りや、子ども会・母親クラブなどの活動促進を目的に設置されました。

当センターは、有終東小学校に隣接していることもあり、幅広い年齢の児童に利用されています。

センター内では、ユニホックやトランポリンなどの体を使う遊びや、オセロや将棋などの頭を使う遊びの両方が行われています。

また、母親クラブ会員の協力で、バザーやボランティアなどの活動も積極的にを行っています。

現在、児童を取り巻く社会情勢は、非常に厳しいものがあります。当センターの活動が、地域と家庭をつなぐ懸け橋の一つになれば、今後よりいっそう豊かな活動を考えています。



当センターを含め市内の四児童センターでは、合同でオセロ大会や映画祭りなどを行っています。日程や時間は広報紙などでお知らせしていきます。ぜひご参加ください。

開館時間 正午～6時

休館日 日曜日 祭日 年末年始

使用料 無料(ただし、有料となる行事もあります)

申し込み・問い合わせ先 大野市東部児童センター(☎66・5233)

ウォーキング⑥

お医者さんからわいわい

近年の健康ブームで、盛んに行われるようになったウォーキング（歩くこと）。でも、無理をすると、かえって体に悪い場合もあります。今回は整形外科医から見た、注意して欲しいポイントなどを紹介します。

有酸素運動は、ある程度にまで心拍数を上げ、それを一定の時間維持することで、体に酸素を多く取り入れる運動です。体内に酸素が十分に取

り入れられると、いろいろな器官の働きが活発になり、健康増進につながります。ウォーキングは、その有酸素運動の代表的なものです。しかし、健康のためのウォーキングも、注意して行わな

いと、かえって体を痛めてしまう場合があります。例えば、下半身の関節（股・膝・足首など）にある軟骨がすり減って、関節のすき間が狭くなる「変形性関節症」。この場合の自覚症状としては、関節の曲げ伸ばしできる範囲がいつもより狭くなったり、安静時や運動時に関節などに痛みがあったりがあげられます。もし関節がはれるような場合は、近くの病院へ相談してください。

また、腰の動く範囲がいつもより狭くなった、脚などに神経からくる痛みやしびれが出る、三百以上歩くと脚がしびれてくるなどの自覚症状がある場合も、病院へ相談してください。これらの症状は腰痛が原因でおこるものが多い、症状が軽いつきは、腰痛体操を続けることで治すことができます。

ウォーキングは、足腰を鍛える運動というよりは、高血圧や糖尿病などの生活習慣病に効果がある内科的な運動です。ただ歩くだけでは、かえって足腰に負担がかかり、関節が痛くなるなどの症状が出る場合があります。ウォーキングの前後に、脚の表側や裏

側の筋肉を伸ばしたり、もみほぐしたりするなどの整形外科的な内容を加えると、長く続けられることにつながり、ウォーキングの効果も高まります。

（市内医師）



ちょっと気になる栄養の話

とても暑かった今年の夏。暑さで食欲が落ちたまま…という人も多いのではないのでしょうか。そんな夏バテを解消し、一日のリズムを作りなおすために



は、朝食をしっかり食べることが大切です。

「朝はなかなか時間がとれなくて…」という人もいるかもしれません。でも、夕食の残りを上手に利用することで、バランスの良い朝食を簡単に作ることができます。残った野菜などを使ってスープを作ったり、ひじきの煮物が残ったら卵焼きに入れたり、いつものみそ汁に海草や野菜、キノコ類などもう一品を加えたり…ちょっとした工夫で食事のバランスが整います。朝ごはんをしっかり食べて、元気にスポーツの秋を迎えましょう。

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター（☎65・7333）

九月一日は防災の日です。あの阪神大震災から五年半、北海道有珠山噴火から五カ月が経ちました。最近では伊豆諸島での地震など、災害はいつも突然にやってきました。あなたの家の備えは大丈夫ですか。

万が一に備えて



家族みんなで確認を

災害に備え、日ごろから家族で話し合っておくことが大切です。緊急集合場所や非常持ち出し品、いざというときの連絡方法や役割分担などを確認しておきましょう。

また、災害が起きたときの避難口の確保や火の始末、子どもや老人の保護など、緊急時の対処なども話し合っておきましょう。

備えは大丈夫？

いざというときいつでも持ち出せる「非常持ち出し品」を備えておきましょう。でも、あまり重くなつてはとっさのときに持ち出せません。優先順位を良く考えて作りましょう。主なものとしては、次のようなものが考えられます。

- ・救急セット（傷薬、胃腸薬、目薬、包帯、ばんそうこうなど）
- ・食料品（飲料水、乾パン、缶詰などの非常食）
- ・衣類（下着、タオルなど）

・安全具（ヘルメットなどの保安帽、懐中電灯など）
そのほかにも、携帯ラジオやマツチ、ひもやナイフ、缶切りなども役立ちます。現金やキャッシュカード、印鑑や有価証券なども、いざというときに持ち出せるようにしておくとい良いでしょう。

もし地震が起ったら

家の中にいるとき

揺れが小さい時は、丈夫な机やテーブルの下にもぐって身の安全を守ります。もし揺れが大きい場合は、外の安全な場所に避難することを考えます。ガス器具や暖房器具など火の気のあるものは、すばやく消します。出火した場合に備えて、消火器などを用意しておきましょう。

外を歩いているとき

窓ガラスや看板など、落下物に注意が必要です。かばんなどで頭を守りながら避難しましょう。また、ブロッケンや自動販売機など倒れそうなものから離れましょう。切れて垂れ下がった電線などにも近づいてはいけません。

デパートやビルなど
店員や係員の指示・誘導に従いましょう。慌てて出口に殺到するなどパニックをおこしては危険です。窓やガラス

ケースから離れ、大きな柱や壁に身を寄せましょう。エレベーターやエスカレーターなどを避難に使うのは絶対にやめましょう。

電車やバスの中など

電車やバスが急停車する場合があります。日ごろから、つり革や手すりなどに、しっかりとつかまることを習慣づけておきましょう。車内アナウンスや乗務員の誘導に従い冷静に避難しましょう。

車を運転中に

急ブレーキは絶対にかけないで下さい。ハンドルをとられる恐れがあります。徐々にスピードを落とし、車を道路の左側に寄せて止まります。揺れがおさまったら、カーラジオなどで情報を聞き落ち着いて行動しましょう。

海の近く

地震が起こると、津波が起こりやすくなります。海岸で地震がおきたら、すぐに高台などへ避難しましょう。

普段から寝る前には

地震などがおこると割れたガラスの散乱や、停電が考えられます。まくら元に、底の厚いスリッパや靴などを普段から準備しておく、いざというときに役に立ちます。

暮らしの

アドバイス

市民のページ

■この「ページ」では市民の皆さんの活動、ふりやご意見などを紹介します。あなたもページに参加しませんか。連絡先 市役所秘書広報課（☎66・1111）

今月のスナップ



う〜ん、そうきたか
(七間語り部座 縁台将棋)



テーマ ～旅する～

ると彼が祖先から受け継いだ耳の記憶の中には、私たちが受け継いできた記憶と近いものがあるのかもしれない。音の記憶というと、正津勉の詩集『冬の旅』の一節を思い出します。

「…大工町、機屋町、寺町、板削る手斧の機織る箴の音にまま戦没の読経のそれもまま問遠に気疎げに洩れてくる」

正津勉は、大野で生まれ育った詩人です。この一節の舞台が大野かどうかは分かりませんが、なんだか懐かしい感じがしませんか。

人生は、よく旅にたとえられます。目で見た音、鼻で感じた音、出会ったことなどないはずなのに親しく懐かしい音。そんな音の記憶をたどりながら、これまでの自分の旅（半生）を振り返ってみるのもいかがでしょう。

『耳の物語』一冊 『冬の旅 winterreise』

今ご紹介する『耳の物語』は、小説家、ジャーナリスト、また、釣り人として世界を歩いた著者が、人生のなかで、自分自身の触れた音の記憶をたどり、回想する、自伝的小説です。

この物語は、子どもころの川遊びで聴いた「泥の吹き、草の呼吸、木の吐息、魚の嘆息、虫の羽音」の記憶で始まり、五十歳を過ぎて南米の砂漠を走る車の中で聴いた「アマデウス・モーツァルトの四十一番交響曲」の記憶で閉じています。

著者は、大阪で生まれ育ちましたが、父親は福井県出身のようです。もしかす



『耳の物語』開高健 新潮社刊
『冬の旅winterreise』正津勉 河出書房新社

感性はがき展 実行委員会

目指せ、一万通

六間通りや七間通り、石灯籠、御清水などで高札に展示された絵や写真などを見かけたことはありませんか。これらは、感性はがき展で集まった作品を展示したものです。

感性はがき展は、はがきサイズの絵や写真、書道などの作品を募集し、まちなかで総合美術展を開催しようと始められました。展示する作品は、テーマに沿って募集され、日本をはじめアメリカ、フィリピン、トルコなど世界中から約五千点〜六千点あまりが寄せられました。

この感性はがき展を運営している実行委員会は、平成九年から活動を始め、現在、二十八人が参加しています。

きっかけは、市教育委員会が開いた「越前大野平成塾」に参加していた人たちが、学

習会や研修会を重ねているうちに「私たちも、何かイベントをやってみよう」と思うようになったからだそうです。委員長の内山浩一さんは「だれもが気軽に参加でき、大好きな大野を全国の人が知ってもらえるイベントをと感性はがき展を考えました。しかし、実際にやってみると、作品の募集に仕上げ、審査、展示、作品集の発行など毎晩夜遅くまで作業が続きました。以上で大変でした。でも、このイベントを通して、みんな力であわせ努力すればいろんなことができるんだということが実感でき、本当によかったと思います。もうすぐ、



昨年募集したテーマ『森』の作品集が完成する予定です」と笑顔で話してくれました。感性はがき展実行委員会に興味のある人は、市教育委員会社会教育課（☎66・1111 1内線542）まで連絡してください。



んにちは

紙の指紋検出法で科学技術長官賞を受賞 酒井光博さん (三十六歳・三番交番勤務)

大野署の三番交番で、日夜、住民の安全を守る酒井光博巡查長。紙についての指紋を検出する新方法を考案し、科学技

術庁長官賞を受賞しました。

これまで、指紋に反応する特殊な液体を、はけなどで紙に塗り、指紋を採取していました。しかしこの方法では、書かれた文字などがにじむことがあり、後の捜査に影響が出ることがありました。

今回考案したのは、特殊な液体を気化させて紙に付着する方法。これまでのように筆跡を傷めることも無く、より簡単に確実な検出が可能になりました。

丸岡署の鑑識係に勤務しているときにひらめき、県警本

Q

今年4月にオープンした「あつ宝んど」の利用料金は、お風呂が六百元、プールが六百元で、両方利用する場合は千円となっていますが、これらの料金はどのようにして決められたのでしょうか？

A

「あつ宝んど」の入館料は、大野市健康保養施設設置条例と大野市公共施設使用料徴収条例で、温浴施設（風呂）とプール施設それぞれが中学

私をひてこと

「あつ宝んど」の入館料について

生以上六百元（小学生以下三百円）、また両方を利用する場合は、中学生以上千円（小学生以下五百円）と設定しています。

料金の設定は、県内にある温浴施設などの料金や、奥越地方にある施設との整合性を考えて行いました。また、温浴施設とプール施設は、使用目的や営業時間などに違いはありますが、お互いに見劣り

しないものと考え、料金を同額に設定しました。なお、これらの料金には、温浴施設の消耗品や、大広間・和室など休養施設の無料開放の経費なども含まれています。

また、入館料が二割安くなる回数券（プリペイドカード）の販売のほか、身体障害者手帳などを持つ人とその介護者（一人）の料金を半額にする制度や、市内在住の七十歳以

部や署の協力を得ながら試行錯誤。二年以上をかけて実用化にこぎつけたそうです。

「小さいころは、パトカーに乗りたくて、お巡りさんにあこがれていました。高校生になり職業を決めるとき、生涯をかけて打ち込める、やりがいのある仕事がしたいと警察官を目指しました」

現在は、地域の見回りや事件の処理などで忙しい毎日だそうです。

「常に迅速な対応を心がけて勤務しています。最近は、警察の不祥事などで騒がれていますが、私も一日も早い信頼回復に向け、よりいっそう職務に励みたいと思います」と顔を引き締めました。



上の高齢者へ半額の助成券を出すなど、利用しやすいよう考えました。

これからも、皆さんに気持ちよく利用いただけるよう、努力していきたいと考えています。「あつ宝んど」に関する皆さんのご意見・ご要望などは、市役所市民福祉部保健衛生課（☎66・1111内線171）までご連絡ください。

投稿規定

市政についての質問や意見などを、八ガキでお寄せください。「住所・氏名・年齢・電話番号」を必ずお書きください。紙上匿名は自由ですが住所・氏名のないものは採用できません。

原文を一部要約することがあります。
あて先は、☎912-8666 大野市天神町1-1-1 市役所秘書広報課広報広聴係」です。

お知らせ

全国一斉に国勢調査

総務庁統計局
福井県大野市

10月1日、全国一斉に国勢調査を行います。日本に住んでいるすべての人を対象とした大規模なもので、特に今回は、21世紀の国の施策やまちづくりなどの基礎資料となる大切な調査です。

項目は、男女の別、出生の年月、就業状態、通勤・通学地、住居の種類などです。調査内容が漏れたり、統計以外の目的に使われたりということは絶対にありません。

調査員が調査票を持って伺います。ご協力よろしくお願います。

国勢調査

平成12年10月1日(日)

9月下旬から調査員がおうかがいたします。



総務庁統計局

福井県大野市

おおのアウトドアグラウンズ2000

麻那姫湖青少年旅行村で、7月29日・30日に、おおのアウトドアグラウンズ2000が開催されました。ガキ大将わんぱくキャンプや熱気球体験フライト、手作り工作教室や魚のつかみ取りなど今年も盛り沢山の内容。子どもたちの元気な笑い声が山々にこだましていました。



手作り工作教室



熱気球体験フライト



あと、もうちょっと がんばれ!

7月28日、大野地区少年消防クラブ連合会の夏季研修会が有終会館で行われました。市内の小学校4～6年生96人が参加。綱渡り体験や消火訓練、バケツリレーなど消防署員らの指導のもと、万が一に備えて真剣な表情で研修を受けていました。

12集落が一体となって

8月11日、集落の枠をこえ効率的な生産調整(転作)を行おうと、小山広域土地利用推進大会が小山公民館で開催されました。今後、規模を生かした効果的な土地利用方法による、地域農業経営の確立などに取り組んでいきます。



たくましく生きる力を育てよう

7月22日、市文化会館で、平成12年度青少年健全育成福井県民大会が開催されました。「ルールを守る心と たくましく生きる力をもつ青少年の育成」をテーマに県内から約600人が参加。一層の活動促進を誓い合いました。



話題の広場

話題の広場



第33回 おおの城まつり



熱狂ふるさと夏まつり

8月11日から16日まで、第33回越前おおの城まつりが盛大に開催されました。13日に行われた大花火大会では、夜空に大輪の花が咲き、14日から16日には恒例の越前おおのおどりが行われ、会場では遅くまで大きな踊りの輪が広がっていました。



身近な話題をお知らせください。

お知らせ 9月



コンバインも 登録が必要です

市役所税務課

農業用のコンバインやトラクターは、軽自動車やバイクと同じように、登録してナンバーの交付を受ける必要があります。同時に軽自動車税も課税されることとなります。新しく購入したり買い替えたりした場合は、市役所で登録しましょう。

必要な物 印鑑・車体の形式の分かるもの

税額 年間10000円

登録・問い合わせ先 市役所 税務課収税係（☎66・1111内線422）

調理師・製菓衛生師 試験と予備講習会

奥越健康福祉センター

試験日 11月12日①

試験会場 勝山高校

受験料 調理師6100円
製菓衛生師9400円

予備講習会 【調理師】10月11日①・12日①有終会館
【製菓衛生師】10月12日①有終会館・16日①国際交流会館

受講料 調理師 製菓衛生師 各15000円

受付期間 試験・講習会いずれも9月1日①～20日①

その他 受験するには、施設で2年間以上の調理従事経験が必要で、

問い合わせ先 奥越健康福祉センター環境衛生課（☎66・2076）

危険物取扱者試験

消防試験研究センター

日時 10月22日①午前10時～

場所 大野地区消防本部

種類 乙種4類・丙種

受験資格 特になし

必要な書類 受験願書（大野地区消防本部に準備）・6カ月以内に撮影した無帽の写真1枚・試験手数料の払込受付証明書（所定のもの）

受験料 乙種4類 3400円

排水設備工事 責任技術者試験・講習会

市役所水道課

円・丙種 2700円

受付期間 9月4日①～12日①（土・日を除く）

午前9時～午後5時

提出方法 持参または郵送で（郵送の場合は9月12日の消印有効）

受け付け・問い合わせ先 消防試験センター 福井県支部（〒910-0003 福井市松本3丁目16-10 福井県合同庁舎内）☎0776・217090

《試験》

日程 11月22日①

会場 嶺北会場 福井市市民福祉会館、嶺南会場 敦賀短期大学

受験料 4000円

その他 免除制度あり

《講習会》

日程・会場 嶺北会場 11月9日①（福井市市民福祉会館）、嶺南会場 11月10日①（敦賀短期大学）

受講料 3000円

申し込み方法 試験申し込み時に受講料を添えて

申し込み期間 試験、講習会いずれも9月14日①～29日①

申し込み・問い合わせ先 市役所水道課公共下水道係（☎66・1111内線29）



交差点では特に注意を

交差点を左折するとき
自動車の後ろから来る二輪車などが、サイドミラーに映らない場合があります。ハンドルを切り始める前に、ミラーや自分の目でよく確認し二輪車などを巻き込まないように注意しましょう。

交差点を右折するとき
右折で交差点に入ったとき、対向車線で右折しようとしている車の陰になって直進してくる自動車や二輪車などが見えないことがあります。安全確認がきちんとできるまで、待つ余裕を持ちましょう。

国民年金前納 口座振替キャンペーン

市役所市民課

国民年金保険料を半年間前納するか、新規に口座振替にすると、抽選で中部・近畿各府県の国民年金福祉施設の宿泊優待券または図書券・テレホンカードが当たります。



秋の交通安全 市民運動

9月21日①
～9月30日①

また自分の車のフロントガラスの窓枠で、自動車や二輪車などが確認できないことがあります。体や首を傾けるなど工夫し、死角を作らないようにしましょう。

歩道からの飛び出しに注意
交差点の右左折では、歩道から飛び出してきた自転車などと衝突する事例が多く見られます。右左折で交差点に入る前には、歩道を通行している自転車や歩行者に注意しましょう。

また、横断歩道を横切る前には一時停止するなど、慎重に運転しましょう。

実施期間 9月1日①～12月29日①

応募方法 市役所市民課にある、指定の応募用ハガキに必要事項を記入の上、福井社会保険事務局あてに送付

申込締切日 12月29日①（当日消印有効）

問い合わせ先 市役所市民課 年金係（☎66・1111内線456）

退職者医療制度の届け出を

会社などを退職し、年金を受けている人は、国民健康保険の退職者医療制度が利用できます。対象は、次の条件にすべて該当する人とその被扶養者です。

- ・国民健康保険に加入している人
- ・老人保健法の適用を受けていない人
- ・厚生年金や共済組合などの老齢年金を受けている人
※年金制度への加入期間が20年以上、または40歳以降の加入期間が10年以上必要です。

医療を受けた場合の自己負担額が軽減されます

被保険者本人	外来2割負担	入院2割負担
被扶養者	外来3割負担	入院2割負担

※入院時の食事代と、外来の薬剤の一部負担金は、別途定額の自己負担が必要です。

退職者医療制度は、年金を受けとれるようになった日から始まります。届け出はお早めに。

問い合わせ先 市役所市民課国保係
(☎66・1111内線457)

**消費者カレッジ
受講生募集**

市役所生活環境課

日時・場所・内容 9月6日

☎午後1時30分〜有終会館

「すまいのリフォーム」▼

9月20日☎午後1時30分〜

市保健センター「エコクツ

キング」▼10月4日☎午後

1時30分〜有終会館「悪質

商法を撃退」

定員 各20人

参加費 無料(ただし材料費

などは実費負担)

その他 各講座の前日までに

電話で申し込み

申し込み・問い合わせ先 市

役所生活環境課(☎66・1111内線464)

お座敷列車

「ふれあい市民号」

市役所生活環境課

今年のお座敷列車「九頭竜線ふれあい市民号」は、一泊二日で富山県金太郎温泉の旅です。魚津のリンゴがお土産にもおすすめです。この旅行は九頭竜線の利用促進を目的に行われ、費用の一部を市が助成します。

申込者が多数となった場合は抽選になります。

旅行日 11月13日(月)〜14日(火)
行き先 富山県金太郎温泉

集合 午前10時10分までにJ

R越前大野駅

対象 18歳以上の市民(幼児

の同伴はできません)

定員 150人

費用 3万2000円

(内一人5000円助成)

申し込み方法 個人またはグ

ループ(5人以内)で、所

定の申込用紙で

申込期間 9月25日(月)〜10

6日(金)

その他 ▼申込用紙は、9月

11日(月)から市役所生活環境

課もしくはJR越前大野駅

に用意▼抽選になった場合、

当選された人のみに連絡

申し込み・問い合わせ先 市

役所生活環境課(☎66・1

111内線462)

元気の出る講座開催

市保健センター

健康診断の結果が少し気になる人や自分の健康に関心のある人などを対象に「お元気上々講座」を開催します。

日時・内容 9月14日(木)「健

診結果はこう生かす」▼9

月21日(木)「ストレスとこう

付き合う」▼9月28日(木)「笑

えば力がわいてくる」▼10

月5日(木)「レッツわくわく

体操」▼10月12日「パーテ

ィーバイキング」

いずれも午後7時〜8時30分

場所 市保健センター

定員 30名

参加費 無料(ただし10月12

日は、食事代5000円が必

要です)

申込締切日 9月7日(木)

申し込み・問い合わせ先 市

保健センター(☎65・73

33)

水中運動教室

市保健センター

腰痛・膝痛の軽減を目的に水中運動教室を開催します。

日時 9月20日(水)〜10月25日

☎の毎週水曜日 計6回

場所 あつ宝んど

定員 30人

参加費 3600円(入場料)

その他 9月8日(金)までに電

話で申し込み

申し込み・問い合わせ先 市

保健センター(☎65・73

33)

**福井刑務所で
矯正展開催**

福井刑務所

日時 9月23日(土)午前10時〜午後4時▼24日(日)午前9時〜午後3時

場所 福井刑務所構内

内容 全国74力所の矯正施設の刑務作業製品展示販売や受刑者生活写真パネルの掲示など

問い合わせ先 福井刑務所企

画部門作業(☎0776・

36・3222)

行政無料相談会

行政書士会

日時 10月2日(月)午前10時〜午後4時

場所 市役所1階ロビー

内容 官公庁に提出する書類

や権利義務・事実証明に関

する相談

問い合わせ先 福井県行政書

士会大野支部長 帰山安夫

さん(☎66・2218)

司法書士無料相談会

福井県司法書士会

日時 10月1日(日)午前10時〜午後4時

場所 大野公民館

内容 土地や建物の相続、売

買、贈与などの登記、会社設

立などの登記、調停や訴訟

の書類作成手続、クレジッ

ト・サラ金問題、高齢者の財

産管理などの法律上の問題

問い合わせ先 福井県司法書

士会(☎0776・33・2

777)

市民のうごき

		8月1日現在	前月比
世帯数		11,769世帯	+39世帯
人口		40,607人	+13人
内訳	男	19,462人	-8人
	女	21,145人	+21人
7月中の異動	転入	97人	出生 16人
	転出	72人	死亡 28人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳		平成12年 7月 末	平成11年 7月 末	比較
総件数		379件	335件	+44件
人身事故	件数	88件	99件	-11件
	死者	0人	2人	-2人
	傷者	111人	119人	-8人
物損事故		291件	236件	+55件

晴天の中で行われた富田大橋の渡り初め。地元の人を中心に、子どもからお年寄りまでたくさんの方が参加して行われました。この橋の完成で市街地と富田・阪谷地区などが、よりいっそう便利になり、地域の発展の大きな原動力となることが期待されます。

表紙のこぼれ

今夏も市内各地で多くのイベントが行われました。写真を撮ろうとカメラをのぞくと、たくさんの方の笑顔が目に入ります。楽しいイベントの裏には、それを支える多くの人たちの頑張りがあつたことをあらためて実感。皆さん本当にお疲れさまでした。(養)

編集後記

先日、友人を誘い金沢市の大野町を訪れた。ここは金沢の海の玄関口であり、かつて北前船の寄港地として栄えた所。古くから木材やしょうゆなどの産業が発展し、今でも古い蔵や町並みなどの面影が残っていると紹介してあった▼まず幕末の科学技術者「大野弁吉」の発明の数々を紹介する「大野からくり記念館」を訪れた。人形をはじめ、さまざまなかくりが展示されている。その当時の先端技術に引き込まれ真剣に見入った▼昼食は、港で揚がったものをその場で仕入れ、新鮮なネタが食べられるという寿司屋へ。七十年前の建物を改装したそうで、吹き抜けになっている。三、四人の職人が寿司をにぎっていた。お昼時ということもあり店内はあつという間にいっぱいになり、やはり評判の店らしい。お腹もいっぱいになった▼次にかつてのしょうゆ蔵を改装した店へ。しょうゆ樽を利用したテーブルやいすが並べられ、ほのかにしょうゆの香りが感じられた。そしてすぐ近くにあるしょうゆ工場を改装したお店へ。両方の店でしょうゆソフトクリームを食べ比べをした▼最後に藩政時代に隆盛を極めた海の豪商「銭屋五兵衛」の記念館へ。四分の一サイズで復元された北前船を見て当時の航海を実感した▼歴史ある港町の風情を味わい、おいしいものを味わった一日。その町がどこか当市に似た雰囲気のあるところだと思えたのは私だけだろうか。(K)



若杉町の山田継司さん(八十一歳)の宝は、トチノキのコブで作られた、先祖から伝わるこね鉢です。こね鉢は、ソバ粉や、ヒエやキビの粉をこねるために使うもので、直径約四十センチから推定して樹齢約二百年のトチノキから作られたものだそうです。山田さんは、昭和三十六年まで、上打波区の上小池に住んでいました。しかし、同じ年の八月十九日に起きた北美濃地震で、家が壊れ、村を離れなければならなくなりました。

69 村の思い出が詰まったこね鉢

山田 継司さん(若杉町)

「今でも地震の日のことは、よく覚えていて。風のないどんよりとした蒸し暑い日で、気味が悪いくらい静かでした。突然、ズンと突き上げるように揺れ始め、森や地面が波のようにうねり、次から次へと山が崩れていきました。揺れが収まると家族のことが心配になりました。無事と分かったときは力が抜け、座りこんでしまいましたね」



こね鉢は、村を離れるときに苦労して運んだ荷物の中でも、特に思い出深い物だそうです。「子どもたちが、この鉢で作られた団子を、おいしそうにほおばっていたのを見出し、いろいろであぶられた灰のついた団子を、手ではたきながらいくつも食べていました。この鉢を見てみると、あの頃のいろいろな思い出が浮かんできますね」と懐かしそうにこね鉢をさすっていました。



先日、友人を誘い金沢市の大野町を訪れた。ここは金沢の海の玄関口であり、かつて北前船の寄港地として栄えた所。古くから木材やしょうゆなどの産業が発展し、今でも古い蔵や町並みなどの面影が残っていると紹介してあった▼まず幕末の科学技術者「大野弁吉」の発明の数々を紹介する「大野からくり記念館」を訪れた。人形をはじめ、さまざまなかくりが展示されている。その当時の先端技術に引き込まれ真剣に見入った▼昼食は、港で揚がったものをその場で仕入れ、新鮮なネタが食べられるという寿司屋へ。七十年前の建物を改装したそうで、吹き抜けになっている。三、四人の職人が寿司をにぎっていた。お昼時ということもあり店内はあつという間にいっぱいになり、やはり評判の店らしい。お腹もいっぱいになった▼次にかつてのしょうゆ蔵を改装した店へ。しょうゆ樽を利用したテーブルやいすが並べられ、ほのかにしょうゆの香りが感じられた。そしてすぐ近くにあるしょうゆ工場を改装したお店へ。両方の店でしょうゆソフトクリームを食べ比べをした▼最後に藩政時代に隆盛を極めた海の豪商「銭屋五兵衛」の記念館へ。四分の一サイズで復元された北前船を見て当時の航海を実感した▼歴史ある港町の風情を味わい、おいしいものを味わった一日。その町がどこか当市に似た雰囲気のあるところだと思えたのは私だけだろうか。(K)